



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月11日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3176 URL <http://www.sanyo-trading.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増本 正明  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 高須 淳 (TEL) 03-3518-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日 配当支払開始予定日 平成28年6月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	31,333	1.1	2,305	13.3	2,376	8.3	1,472	△2.8
27年9月期第2四半期	31,002	3.4	2,036	15.6	2,195	13.9	1,514	36.6

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 1,165百万円(△41.4%) 27年9月期第2四半期 1,988百万円(72.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年9月期第2四半期	102	96	102	57
27年9月期第2四半期	105	89	105	63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	30,995	20,189	63.2
27年9月期	30,285	19,394	62.1

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 19,590百万円 27年9月期 18,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年9月期	—	24.00	—	25.00	49.00	
28年9月期	—	23.00				
28年9月期(予想)			—	23.00	46.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	64,000	5.5	4,050	12.3	4,250	3.4	2,600	△7.0	181	77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期2Q	14,503,854株	27年9月期	14,503,854株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	198,646株	27年9月期	200,246株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期2Q	14,303,914株	27年9月期2Q	14,303,608株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産などで弱さがみられるものの、雇用情勢の改善を始め全体としては緩やかな回復基調が続いています。一方で、中国などの新興国の経済減速は継続し、円高・株安の進行や米国利上げのペースダウンなどで先行きへの不透明感が続いています。

このような環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、31,333百万円（前年同四半期比1.1%増）となり、営業利益は2,305百万円（前年同四半期比13.3%増）、経常利益は2,376百万円（前年同四半期比8.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,472百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

なお、平成28年2月29日付でインキ・塗料・コーティング事業の販売拡大と事業価値向上を目的として㈱ソートの株式を取得し、連結子会社といたしました。みなし取得日を3月31日としているため、当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「ゴム・化学品」としていたセグメントの名称を「化成品」へ変更しております。セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

#### ①化成品

ゴム関連商品は、主力の自動車向けや家電・情報機器向けの合成ゴムおよび副資材の販売が低調でした。化学品関連商品は染料や難燃剤の販売が好調でしたが、工業用フィルムの輸出や電材が低調でした。

この結果、売上高は11,894百万円（前年同四半期比2.3%減）、セグメント利益（営業利益）は580百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

#### ②機械資材

産業資材関連商品は、自動車内装用部品の販売が引き続き好調に推移し、シート用高機能性部品・原材料販売も伸長しました。科学機器関連商品は、各種分析・試験機器の販売が好調でした。機械・環境関連商品は、木質バイオマス関連は案件実現の端境期となりましたが、飼料用ペレットミルが好調でした。

この結果、売上高は10,197百万円（前年同四半期比11.7%増）、セグメント利益（営業利益）は1,304百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。

#### ③海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、自動車用各種部品が伸長しましたが、吸水性樹脂やフィルムは低調でした。三洋物産貿易（上海）有限公司は、自動車用各種部品が牽引し、好調でした。San-Thap International Co., Ltd.（タイ）はタイパーツ安による輸入品の採算悪化により低調でした。

この結果、売上高は5,928百万円（前年同四半期比6.3%減）、セグメント利益（営業利益）は192百万円（前年同四半期比26.0%減）となりました。

#### ④国内子会社

コスモス商事㈱は、海洋・船舶の大型案件実現により引き続き好調に推移しました。㈱ケムインターは、化学品、機械・電子部品ともに低調でした。

この結果、売上高は3,176百万円（前年同四半期比2.5%減）、セグメント利益（営業利益）は413百万円（前年同四半期比45.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、売上の増加に伴う売掛債権の増加等により、前連結会計年度末比150百万円増加し、24,983百万円となりました。

固定資産は、主に子会社株式の取得によるのれんの増加により、前連結会計年度末比559百万円増加し、6,011百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は30,995百万円（前連結会計年度末比710百万円の増加）となりました。

### (負債)

流動負債は、仕入債務や短期借入金が増加した一方で、引当金等が増加したことにより、前連結会計年度末比41百万円増加し、9,690百万円となりました。

固定負債は、主に投資有価証券の評価差額計上に伴う繰延税金負債の減少により、前連結会計年度末比126百万円減少し、1,114百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は10,805百万円（前連結会計年度末比85百万円の減少）となりました。

### (純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によって株主資本が増加した一方、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少により、その他の包括利益累計額が減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における純資産は20,189百万円（前連結会計年度末比795百万円の増加）となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末比369百万円減少し、2,831百万円となりました。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,254百万円の収入(前年同四半期比806百万円の増加)となりました。これは、売上債権の増加や仕入債務の減少があった一方で、税金等調整前四半期純利益の計上やたな卸資産の減少があったこと等によるものです。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、663百万円の支出(前年同四半期比523百万円の減少)となりました。これは主に、子会社株式取得にかかる支出によるものです。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、936百万円の支出(前年同四半期比190百万円の減少)となりました。これは、短期借入金の返済や配当金の支払いによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年11月6日付の「平成27年9月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第2四半期連結会計期間において、株式の取得に伴い、株式会社ソートを連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ34,065千円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,204,896	2,835,263
受取手形及び売掛金	12,567,404	13,360,466
電子記録債権	502,130	663,098
商品及び製品	7,407,708	7,237,493
仕掛品	1,824	1,859
原材料及び貯蔵品	2,188	2,331
その他	1,172,000	894,750
貸倒引当金	△24,927	△11,734
流動資産合計	24,833,226	24,983,529
固定資産		
有形固定資産	1,984,251	2,000,764
無形固定資産		
のれん	7,638	720,067
その他	51,107	88,815
無形固定資産合計	58,745	808,882
投資その他の資産		
投資有価証券	2,710,749	2,431,067
その他	703,319	777,642
貸倒引当金	△5,130	△6,698
投資その他の資産合計	3,408,938	3,202,011
固定資産合計	5,451,936	6,011,658
資産合計	30,285,162	30,995,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,051,820	6,977,047
短期借入金	984,664	707,044
1年内返済予定の長期借入金	50,000	78,500
未払法人税等	754,420	808,872
引当金	10,646	184,461
その他	797,810	934,612
流動負債合計	9,649,361	9,690,537
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
退職給付に係る負債	681,537	669,127
その他	509,849	395,863
固定負債合計	1,241,386	1,114,991
負債合計	10,890,748	10,805,528
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	428,398	427,754
利益剰余金	16,627,189	17,742,340
自己株式	△192,195	△190,659
株主資本合計	17,869,980	18,986,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	693,428	505,448
為替換算調整勘定	233,072	99,143
その他の包括利益累計額合計	926,500	604,591
新株予約権	35,823	49,003
非支配株主持分	562,110	550,041
純資産合計	19,394,414	20,189,659
負債純資産合計	30,285,162	30,995,188

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	31,002,035	31,333,650
売上原価	26,113,188	26,125,929
売上総利益	4,888,846	5,207,721
販売費及び一般管理費	2,852,811	2,901,779
営業利益	2,036,034	2,305,941
営業外収益		
受取利息	3,980	3,137
受取配当金	23,812	24,746
為替差益	125,887	27,887
その他	50,415	40,343
営業外収益合計	204,095	96,114
営業外費用		
支払利息	26,313	9,507
その他	18,646	16,134
営業外費用合計	44,960	25,642
経常利益	2,195,170	2,376,414
特別損失		
減損損失	25,352	—
関係会社株式売却損	12,803	—
和解金	—	32,361
特別損失合計	38,156	32,361
税金等調整前四半期純利益	2,157,013	2,344,053
法人税等	591,396	845,739
四半期純利益	1,565,617	1,498,314
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,969	25,572
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,514,648	1,472,741

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	1,565,617	1,498,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238,211	△188,357
為替換算調整勘定	184,275	△144,208
その他の包括利益合計	422,487	△332,566
四半期包括利益	1,988,104	1,165,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,907,254	1,150,833
非支配株主に係る四半期包括利益	80,849	14,914

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,157,013	2,344,053
減価償却費	86,584	81,711
のれん償却額	2,424	2,203
負ののれん償却額	△2,924	—
株式報酬費用	17,864	14,069
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,242	△11,428
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25,220	△12,334
その他の引当金の増減額(△は減少)	104,033	173,815
受取利息及び受取配当金	△27,792	△27,883
支払利息	26,313	9,507
為替差損益(△は益)	△22,283	35,300
減損損失	25,352	—
関係会社株式売却損益(△は益)	12,803	—
売上債権の増減額(△は増加)	△197,464	△937,378
たな卸資産の増減額(△は増加)	△604,199	266,278
仕入債務の増減額(△は減少)	△430,485	△114,788
前受金の増減額(△は減少)	302,599	126,091
前渡金の増減額(△は増加)	30,225	180,978
その他	△83,024	△84,937
小計	1,423,503	2,045,257
利息及び配当金の受取額	27,291	28,677
利息の支払額	△31,648	△9,385
法人税等の支払額	△971,060	△809,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	448,086	1,254,818
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△40,103	△94,461
有形固定資産の売却による収入	14,912	557
投資有価証券の取得による支出	△8,156	△8,442
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△588,750
関係会社株式の取得による支出	△56,100	△6,920
貸付けによる支出	△53,338	△15,000
貸付金の回収による収入	138	53,001
その他	3,015	△3,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,631	△663,220
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△449,946	△550,434
配当金の支払額	△271,768	△357,590
非支配株主への配当金の支払額	△22,409	△26,983
その他	△1,644	△1,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	△745,768	△936,650
現金及び現金同等物に係る換算差額	67,698	△24,580
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△369,616	△369,632
現金及び現金同等物の期首残高	3,490,647	3,201,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,121,031	2,831,463

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	国内 子会社	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,172,703	9,130,702	6,325,042	3,258,353	30,886,801	115,054	31,001,856	178	31,002,035
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,449,372	90,302	734,254	30,479	2,304,409	16,642	2,321,051	△2,321,051	—
計	13,622,076	9,221,004	7,059,297	3,288,832	33,191,211	131,696	33,322,908	△2,320,873	31,002,035
セグメント 利益	637,049	1,077,866	259,616	283,914	2,258,446	77,730	2,336,176	△300,141	2,036,034

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額178千円は、管理会計との為替調整額であります。

(2) セグメント利益の調整額△300,141千円には、のれん償却額△922千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△262,975千円、管理会計との為替調整額△107,034千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	国内 子会社	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	11,894,705	10,197,677	5,928,346	3,176,437	31,197,168	115,173	31,312,341	21,308	31,333,650
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,250,558	117,395	621,182	20,395	2,009,532	16,642	2,026,174	△2,026,174	—
計	13,145,264	10,315,073	6,549,528	3,196,833	33,206,700	131,815	33,338,515	△2,004,865	31,333,650
セグメント 利益	580,503	1,304,158	192,180	413,595	2,490,438	52,667	2,543,105	△237,163	2,305,941

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額21,308円は、管理会計との為替調整額であります。

(2) セグメント利益の調整額△237,163千円には、のれん償却額△795千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△251,616千円、管理会計との為替調整額4,523千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの名称の変更)

第1四半期連結会計期間より、従来「ゴム・化学品」としていたセグメントの名称を「化成品」へ変更しております。セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間の報告セグメント情報についても、変更後の名称で表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社ソートの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「化成品」セグメントにおいて、のれん715,046千円を計上しております。